

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/03/21

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.74	0.12
JPY/THB	0.2267	0.0007
USD/JPY	148.78	0.09
EUR/THB	36.61	-0.04
EUR/USD	1.0851	-0.0052
USD/CNH	7.252	0.021
SGD/THB	25.28	0.02
AUD/THB	21.26	-0.11
USD/INR	86.37	-0.07
USD Index	103.85	0.42

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.838	-0.048
10Y (THB)	2.063	-0.041
5Y (USD)	4.012	-0.009
10Y (USD)	4.237	-0.006

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,043.8	2.6
WTI (Oil)	68.26	1.1
Copper	9,936.5	-51.0

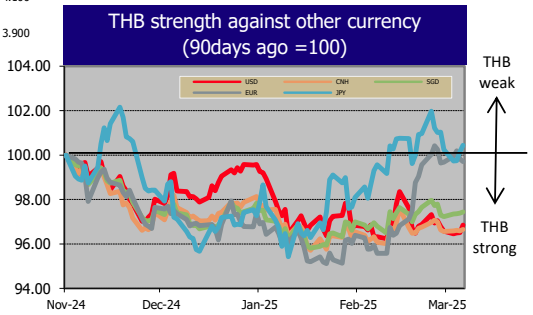
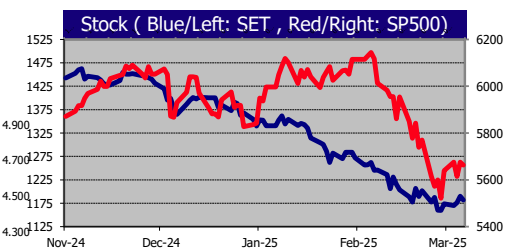
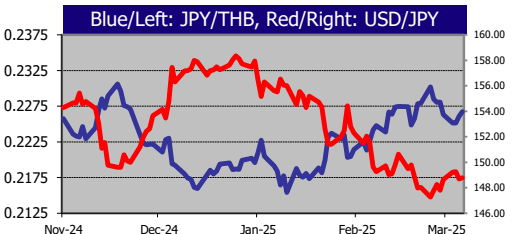
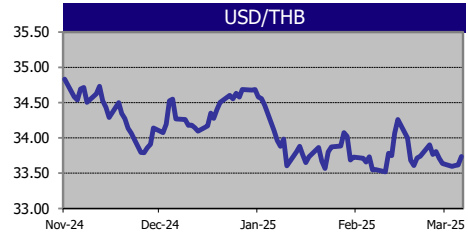
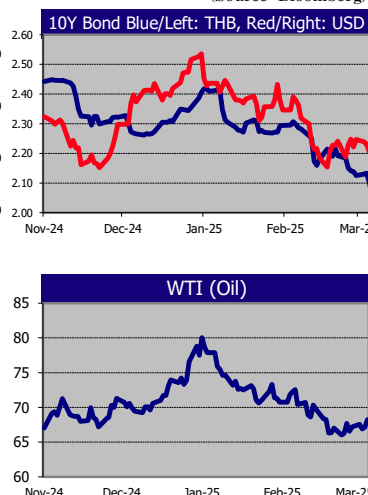
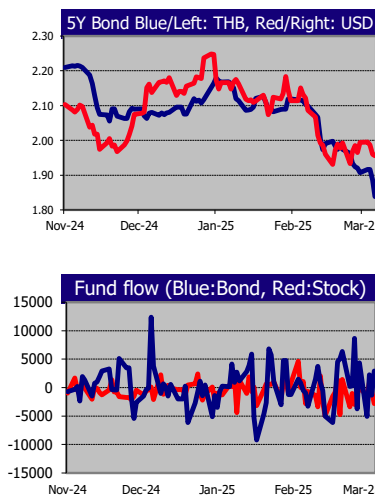
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,181.71	-7.95
NIKKEI (JP)	37,751.88	0.00
DOW (US)	41,953.32	-11.31
S&P500 (US)	5,662.89	-12.40
SHCOMP (CN)	3,408.95	-17.48
DAX(GER)	22,999.15	-288.91

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,834)	-2125.9
Bond net flow	2,910	4230.4

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上昇。33パーツ半ばの水準でスタート。タイ政府が不良債権対策に係る計画に言及したことや、FOMCを通過し、月末に向けたポジション調整の動きがあったか、ドル買い優勢の展開に。海外時間に入っても勢いは継続し、NY時間に発表された米新規失業保険申請件数が予想を下回った結果となると、さらに上値を伸ばし、33パーツ台後半の同日高値を付けた。しかし、その後は米株式相場の反落を横目に失速し、33.74レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は僅かに上昇。148円半ば付近でスタート。日・米金融政策決定会合を通過し、東京休日となる中で、148円台前半での軟調推移が続いた。欧州時間に入ると、ドル売り一服感が出て148円台後半まで値を戻す展開に。NY時間に発表された米新規失業保険申請件数が予想を下回ったことを受け、一時149円台手前まで上昇したが、その後は米株式相場の反落を横目に伸び悩み、148.78レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

今朝発表された本邦全国CPIは前年比+3.7%となり、市場予想の同+3.5%を上回る結果となった。日本ではメディアでの報道などを中心にコメなどの食料品価格の上昇に注目が集まっているが、生鮮食品を除くコアCPIでも同+3.0%、エネルギー・生鮮食品を除くコアCPIでも+2.6%となり物価上昇が継続していることが確認された。19日に行われた日銀会合の声明文では基調的な物価上昇について「見通し期間後半には物価安定の目標と概ね整合的な水準で推移する」との見解が維持されており、引き続き利上げを行い物価上昇を2%程度に収束させていくというこれまでの想定に変更はない。一方で、米関税政策等に関し植田総裁は会見で「1月会合時点より世界経済の不確実性が増している」とコメント。同日海外時間に行われたFOMC会合においても「不確実性」が一つのキーワードとなっており、日米ともに米通商政策に端を発する先行き不透明感に警戒感を高めていることが窺える。株式市場でも先月下旬以降、不透明感を嫌気し軟調な値動きが継続しておりリスク回避的な値動きが目立つ。トランプ大統領の減税政策が具体化することでセンチメントが改善するものと期待したいところではあるが、こちらも不確実性が高く見通し難い。ヘッジ可能なリスクについては早めに手を打ち、安全運転を心掛けたいところか。(綱島)